指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

| 1 | 施設名 | パル三居沢 | |
|---|---------|--|--|
| 2 | 指定管理者 | 社会福祉法人 緑仙会 | |
| 3 | 指定期間 | 平成29年4月1日から令和4年3月31日まで(5年間) | |
| 4 | 施設の利用状況 | 《利用者数》 人(前年度比 ○○%) ・令和元年度 2.779人(前年度比 82.65%) ・平成30年度 3,362人(前年度比 93.72%) ・平成29年度 3,587人(前年度比 97.34%) 《事業》 | |
| 5 | 収支の状況 | (費用》 指定管理者に支払った費用 34,650千円 (35,432千円) その他市が負担した費用 0千円 (2,883千円) (収入》 使用料収入 17,513千円 (20,780千円) 【再掲:利用者負担額 0千円 (0千円)】 その他収入 0千円 (500千円※) ※他施設と併せて実施した設計委託に係る収入を計上している。 | |
| 6 | 利用者の声 | 《実施状況》 ・令和2年2月,指定管理者の協力のもと障害者支援課で利用者アンケートを実施し,18人/19人(94.7%)の回答を得た。施設の利用に関し,満足又は大変満足が78.9%,普通が13.3%,不満が5.6%,大変不満が2.2%という回答であった。 | |

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

| _ | (モニタリングシートの結果によって評価) | | | | |
|----|--------------------------|---|-------|--|--|
| | 評価分野 | 所見 | 評価 | | |
| Ι | 総則 | 施設の設置目的に基づいた管理運営が適切になされている。 就労継続支援B型事業のサービスの提供に意欲的に取り組んでいる。 前年度に引き続き,地域との交流促進や実習生の受け入れにも積極的に取り組んでいる。 | 45/45 | | |
| П | 施設の運営管理体制 | 必要数の職員が配置されており、職員間での情報共有も図られている。また、経理職員についても担当職員を定めることで、適切に書類を作成している。 事故防止や災害発生時における対応について、安全対策委員会の設置、訓練の実施等のほか、三居沢地区防災会議に参加し、近隣施設や関係機関と災害時の協力体制を構築するなど、緊急時の体制がとられている。 | 24/24 | | |
| Ш | 施設・設備の維持管理 | 建設・設備の保全や備品管理については、委託仕様書に沿った適切な管理・取り扱いがなされている。また、施設内の清掃についても、定期的にしっかりと行われており、利用者が衛生的かつ快適に利用できる状態である。 | 24/24 | | |
| īV | サービスの質の向上 | 施設職員の資質の向上や意識啓発のための研修会の実施, 定期会議による職員間での情報共有の取り組みを行っている。 ホームページでの情報提供や施設のパンフレット作成など, 適切な利用情報の提供に 努めている。 | 28/28 | | |
| v | 施設固有の基準 | 地域との連携を図りつつ、自主製品の販売促進、工賃増額を目指した新規生産活動の 獲得などの積極的な取り組みが見られる。 個別支援計画については、利用者の状況に合わせて定期面接の機会を設けるなどし て、きめ細やかな支援に努めた。 | 12/12 | | |

《指定管理者(社会福祉法人 緑仙会)による自己評価》

パル三居沢は、指定管理者管理業務協定書及び仕様書に基づく適正かつ円滑な業務管理に努めるとともに、当法人の「第三次中期 経営計画(H29~H33)」に則して策定した「平成31年度パル三居沢事業計画」に基づき事業を実施した。

公の施設としての公益的使命を踏まえ、毎日通所することが困難な重度の障害者を積極的に受け入れるとともに、利用者一人ひとりが 安心して通所し、自己の目標に向けて活動できるよう個別支援計画の見直しを丁寧に行い、きめ細やかな支援に努めた。また、支援に際 しては、区保健福祉センターや障害者相談支援事業所など関係機関との連携を深めることで支援の質を高めた。

生産活動としては、事業所内で行う受託作業(医療用コルセットの組立・企業広告等の封入・箱折り・割り箸の袋詰め・紙垂制作)のほか、 事業所の外で行う清掃・除草作業等に取り組んだ。特に、除草作業においては、市交通局・消防局からの要請に応え平成29年度から継 続して実施している地下鉄南北線駅5駅、消防無線基地局3か所での除草作業に取り組んだ。加えて、アクリルたわし、キャンドル等の自 主製品の販売のほか、割り箸鉄砲や手芸品等の製作活動を行った。結果として、平成31年度の平均工賃月額(県障害福祉課報告値)は 目標値を上回る12,354円となり、前年度比で32.6%の増となった。

このほか、地域でのイベントにも積極的に参加したほか、各種教育機関と連携し、精神保健福祉援助実習、精神看護学実習等の実習 生を意欲的に受け入れ、福祉人材の育成に協力するなど地域貢献に努めた

《施設設置者(仙台市)による評価》 総合評価 令和元年度の管理運営については、協定書及び仕様書に従って概ね適切・良好に行われていた。 下請け作業, 自主製品制作, 清掃や除草作業といった多様な作業種目を提供しており, 特に除草作業では, 仙 台市交通局からの要請にも引き続き応えた。また、アクリルたわし、キャンドル等の自主製品の販売のほか、割り箸 鉄砲や手芸品等の製作活動にも取り組むなど、工賃向上に向けた取り組みも評価できる。 S 全体としては、研修の実施による職員の人材育成の取組みを積極的に行うことなどにより、就労継続支援B型事 業所として良好なサービスの提供に繋げているため、総合的に高く評価できる。

四 その他特記事項

| (上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する) |
|---|
| 特記事項 |
| |
| |
| |

◎ 評価担当課(施設所管課):健康福祉局障害福祉部障害者支援課